

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/09/30

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	37.88	0.16
JPY/THB	0.2623	0.0006
USD/JPY	144.46	0.30
EUR/THB	37.18	0.44
EUR/USD	0.9815	0.0080
USD/CNH	7.098	-0.065
SGD/THB	26.44	0.15
AUD/THB	24.63	0.03
USD/INR	81.85	-0.09
USD Index	112.25	-0.35

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.729	-0.038
10Y (THB)	3.271	-0.028
5Y (USD)	4.017	0.069
10Y (USD)	3.786	0.054

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,658.5	-1.8
WTI (Oil)	81.23	-0.92
Copper	7,542.0	120.0

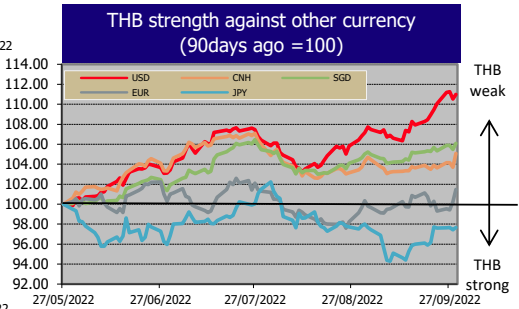
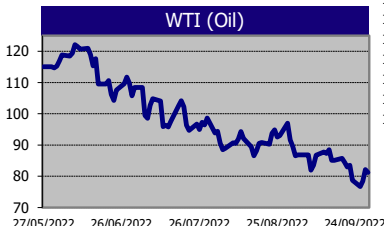
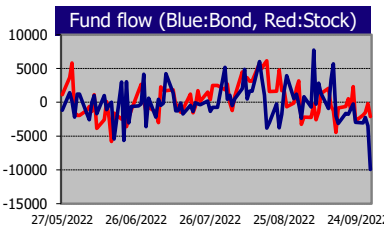
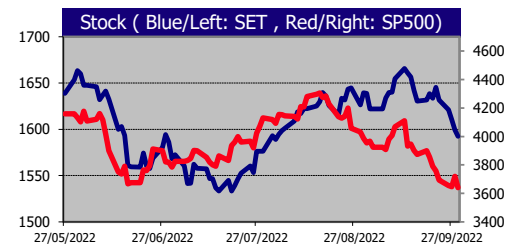
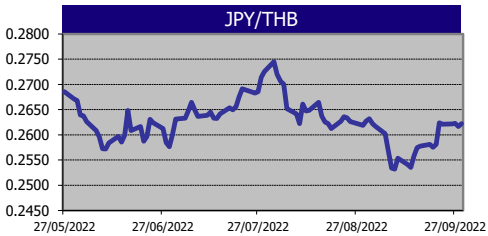
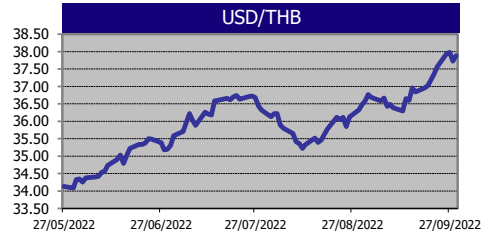
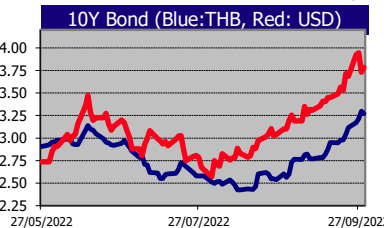
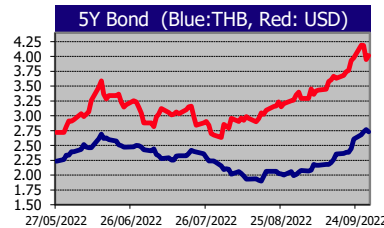
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,592.37	-6.86
NIKKEI (JP)	26,422.05	248.07
DOW (US)	29,225.61	-458.13
S&P500 (US)	3,640.47	-78.57
SHCOMP (CN)	3,041.21	-3.86
DAX(GER)	11,975.55	-207.73

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,105)	-1896.9
Bond net flow	(9,936)	-6458.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは前日に続き38パーツ台に乗せるも、後半に失速する展開。37パーツ台後半でスタートしたドルパーツは、序盤から底堅く推移。バンコク時間午前中にはセタブット・タイ中銀総裁がシンポジウムにて、「必要に応じ、金融政策を調整する用意ができています」という前提を置きながらも、「回復途上にあるタイ経済にとって大幅な利上げは適していない」と指摘した上で、「徐々に金利を引き上げてインフレ率を目標範囲に戻し、確実な回復持続につなげていく」との方針を示したこともあり、一時38パーツ台前半まで上昇。然しながら、バンコク時間終盤に中国人民銀行が人民元安を阻止するため主要な国有銀行に対し、元買介入の準備を指示したとのヘッドラインを受けてドル人民元が下落。同通貨との相関性が相応に高いとされるパーツも連れる展開に、ドルパーツも下落。結局、終盤にかけて38パーツを割り込み、37.88レベルでクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。144円台丁度付近でスタートしたドル円は、序盤、半期末の取引も相応に見られる中、ドル買い優勢の展開となり、一時144円台後半まで上昇。ただし、昨日、日本政府高官より改めて「為替の動向に注意しながら、必要な措置をとる」との発言も見られ、為替介入に係る警戒感も残る中、ドル円も同水準では上値を追う勢いは見られず。結局、終盤にかけては144円台半ばまで値を戻し、144.46レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週開催された主要欧米中銀の金融政策会合を受け、グローバルに一段の金融引き締めが加速した。また、英国の新政権が発表した追加減税策を受け、財政悪化懸念等から、英ポンドが急落する等市場は荒れ模様。9月FOMCでは、想定より強い金融引き締めを長く続けるタカ派姿勢が示され、利上げ織り込みの最高到達点は一段と上昇。これを受けて、株式市場は景気悪化懸念からグローバルに株価は大幅下落。NYダウは5営業日続落し、約1年10カ月ぶりの安値水準まで下落。JPモルガンのトレーディングモデルによれば、米金融当局が先週にタカ派姿勢を強めて以降、S&P500種の6.5%急落は、92%の米リセッション確率を示唆している。これは8月時点の51%から急上昇しており、来年のリセッション懸念が一層強まっている。年末に向けた世界的なリスク回避の動きには、警戒する必要がある(前川)。